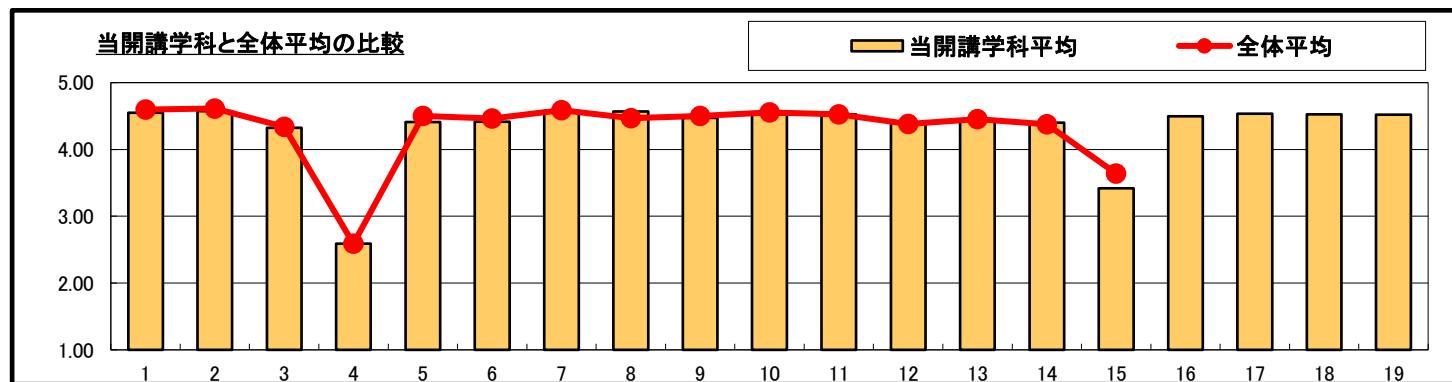


# 2025年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学短期大学部

開講学科	保育科					履修者数	1,137				
						回答者数	727				
学年 マーク		回答者数／構成比 (%)									
1年		2年		3年		4年		無効回答			
533		194		0		0		0			
73.3		26.7		0.0		0.0		0.0			
No.	設問文			平均	回答者数／構成比 (%)						
					5	4	3	2	1		
					とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		
▼全学部共通の質問項目											
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった			4.55	437 60.3	260 35.9	19 2.6	7 1.0	2 0.3		
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった			4.58	459 63.3	233 32.1	26 3.6	5 0.7	2 0.3		
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）			4.32	338 46.8	300 41.6	69 9.6	10 1.4	5 0.7		
▼学部レベルの質問項目											
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）			2.59	2時間以上 74 10.2	1時間以上 2時間未満 87 12.0	30分以上 1時間未満 199 27.5	30分未満 196 27.1	全くして いない 168 23.2		
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた			4.41	378 52.1	271 37.4	73 10.1	2 0.3	1 0.1		
6	この科目の難易度は適切であった			4.42	380 52.5	282 39.0	48 6.6	11 1.5	3 0.4		
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった			4.58	453 62.7	243 33.6	22 3.0	2 0.3	3 0.4		
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った			4.57	451 62.2	243 33.5	26 3.6	2 0.3	3 0.4		
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった			4.47	420 57.9	242 33.4	52 7.2	8 1.1	3 0.4		
▼教員個人レベルの質問項目											
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった			4.53	436 60.1	243 33.5	39 5.4	6 0.8	1 0.1		
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった			4.52	431 59.5	250 34.5	35 4.8	8 1.1	0 0.0		
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた			4.40	394 54.5	246 34.0	64 8.9	16 2.2	3 0.4		
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた			4.45	399 55.2	259 35.8	54 7.5	11 1.5	0 0.0		
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた			4.40	381 52.6	260 35.9	74 10.2	9 1.2	0 0.0		
15	この授業のシラバスを読みましたか			3.42	十分に 読んだ 142 19.6	よく読んだ 233 32.1	どちらとも いえない 187 25.8	ほとんど 読まなかつた 113 15.6	全く読んで いない 50 6.9		
▼学科設問											
16	私は、この授業を通して、保育の理論について理解を深めることができた			4.50	406 56.2	279 38.6	31 4.3	5 0.7	2 0.3		
17	私は、この授業を通して、保育に必要な感性を高めることができた			4.53	425 58.8	263 36.4	32 4.4	2 0.3	1 0.1		
18	私は、この授業を通して、保育に役立つスキルを身につけることができた			4.52	422 58.4	264 36.6	30 4.2	4 0.6	2 0.3		
19	総合的に見て、私はこの授業に満足している			4.52	427 58.9	259 35.7	32 4.4	3 0.4	4 0.6		



## 2025年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	短期大学部保育科
講評者	保育科長 遠藤知里

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学習環境については概ね 4.5 以上の高評価であった。「3. 周りの学生の熱意が感じられた」についてはやや低評価であるが、4.0 以上であり、内容的には十分である。ただ、細かく見ると、一部の低評価学生（多くの項目についてネガティブ評価である学生）の存在が想像される。このような学生が、周囲の環境や人間関係を肯定的に受け止められるようになることを願い、学生指導において努力していきたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	短期大学部の全体平均との比較において、「8. この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った」については、保育科が上回る結果となった。 保育科学生はキャリア形成（資格免許の取得、保育職への就職）に対する目的意識が高く、それゆえに授業において高度な専門性を伝達していることを、学生自身がよく受け止めていることの表れと考えられる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	短期大学部の全体平均との比較において、「12. 学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた」、「14. 必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた」については、保育科が上回る結果となった。 保育科においても、多様な学生を抱える現状があり、個別最適の授業展開のため教員が工夫している。この結果は、授業における各教員の努力の表れと考えられる。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	保育についての、理論的理の深化、感性向上、スキル向上、満足度の各項目において、概ね 4.5 点の高得点となっている。学生の目的意識の高さに応える授業となっていることが読み取れる。今後も、そのような授業づくりを継続できると良い。